



ハザードマップ

津波編

この地図は、愛知県への影響が大きいと想定される地震ケース(複数)で発生する津波を想定し、浸水シミュレーションの結果より最大となる浸水域・浸水深しんすいしき しんすいしんを抽出し表示したものです。

【避難所の敷地の一部が浸水する可能性がある指定避難所】
瑞穂記念館みずほきねかん

なお、避難の際は、避難所の開設状況を市ホームページなどで確認してください。
※津波編の最終ページ(75ページ)に補足説明があります。

ステップ
1

津波の危険性を知る

自分の位置を詳細地図 (P65~74) で確認してください

※自宅だけでなく、職場、学校、親せきの家なども確認しておいてください。

そこは「避難対象地域[※]」の中ですか

^{ひなんたいしょうちいき}
※避難対象地域:津波が発生した場合に避難が必要な地域で、愛知県が公表した津波浸水想定に基づき住民等がワークショップにて設定し、市が指定した地域です。安全性の確保、円滑な避難等を考慮して、津波浸水想定区域よりも広い範囲で指定しています。

いいえ

その場で安全確保

はい

強い揺れを感じたとき、
弱い地震でも長い時間ゆっくりとした揺れを感じたとき、
警報や避難情報等が発表されているときには、
すぐに避難行動をとってください

避難先

津波避難では、時間と余力のある限り、より安全な場所を目指す

<p>津波一時避難場所</p> <p>避難対象地域から避難した後、余力のある場合に目指す場所 (広域・応急避難場所)</p>	<p>避難目標地点</p> <p>津波の危険がある避難対象地域から避難する際に目指す場所</p>	<p>緊急避難場所</p> <p>津波の危険から緊急に避難するための高台や施設</p>
---	---	--

自分が歩いて逃げられる避難先を何か所か考えましょう

※とにかく避難対象地域の外へ避難することを目指してください。

ステップ
2

ステップ
2

避難先の決定と避難経路の安全確認

ステップ1で考えた避難先を確認しましょう

避難先までの経路を確認しましょう

避難経路は「津波避難計画」を参考に
それぞれに合った複数の避難経路を検討してください。



半田市 津波高潮避難計画 検索



- 自らできる限り迅速に、高く安全な場所をめざす。
- 避難対象地域の外に最も安全かつ早く避難できる、目標地点(避難目標地点)への最短コースを避ける。
- 避難対象地域の外へ避難した後、余力のある場合は、さらに津波一時避難場所へ向かって避難する。
- 津波の浸水方向には向かわない。
- 河川に沿った避難は避ける。
- 原則、徒歩による避難とする。

各項目を確認!

あなたが逃げる避難先を書きましょう

	(避難にかかる時間 [※])
津波一時避難場所	(分)
避難目標地点	(分)
緊急避難場所	(分)

※時間の目安は、詳細地図の右下に示しています。

ステップ
3

ステップ
3

避難を始めるタイミングを考える

災害時には、第2章の「情報収集手段(P3)」を参考に最新の情報を入手して、安全に避難するために活用してください。市から避難情報が発表されるまでに災害が起こることもあります。地震情報や周りの状況等に注意し、危険を感じたらすぐに命を守る行動をとりましょう。

津波避難行動

大地震
が発生

津波避難のポイント

避難対象地域にお住まいの方は、
下の流れに沿ってすぐに避難しましょう。

ステップ
1

まずは 身の安全を守る

強い揺れを感じたり、弱い地震でも長い時間ゆっくりとした揺れを感じた時はまず、身の安全を守りましょう。

大津波警報発表

テレビ、ラジオ、屋外拡声スピーカーなどでお知らせします。

ステップ
2

すぐに 避難の準備を

自宅に
いる場合

ガスの元栓を閉める。
電気のブレーカーを切る。
家族や隣近所に声をかける。
非常持出品を携行する。

屋外などに
いる場合

周りにいる人と状況を
確認しあう。
近くの住人に助けを求めよう。

ステップ
3

すぐに あわてず避難の開始

ステップ1で考えた 避難先を目指して

津波からの避難の原則は「時間と余力のある限り安全な場所をめざす」です。余裕のない場合は近くの高台や緊急避難場所に避難しましょう!

徒歩で避難を

原則として、車で避難するのはやめましょう。車での避難は渋滞を引き起こし、かえって避難の妨げになります。

海岸や川沿いには近づかない

地震の後は、護岸や堤防が被害を受けている可能性があり非常に危険です。決して近寄らないようにしましょう。

寄り道はしない

津波からの避難は一刻を争います。家のことを心配して引き返したり、貴重品などを取りに戻ったりせず、まっすぐ避難先へ向かいましょう。

緊急避難場所への避難について

緊急避難場所は、あくまでも一時的な避難施設なので、物資などの備蓄はありません。津波の到達後、緊急避難場所の周辺が長期間にわたって水に浸かり、孤立する恐れがあります。できるだけ津波の避難対象地域外へ避難しましょう。

ステップ
4

確実に 避難の完了

正しい情報の入手

テレビやラジオ、屋外拡声スピーカーなどで正しい情報を入手し、次の行動に備えましょう。

津波が迫ってきたら少しでも高い所へ

避難が完了する前に津波が迫ってきたら、すぐに周囲の高い所へ避難しましょう。少しでも高い所へ避難すれば、その分、命が助かる可能性が高くなります。

ステップ
5

落ち着いて 避難の継続

津波到達

安全が確認されるまで避難を継続する

津波は繰り返し押し寄せてきます。水が引いても、津波の警報や注意報、避難指示が解除されるまでは安全な場所で避難を継続しましょう。

! ステップ1からステップ3
で確認したことを、この
ページに整理しましょう。

わたしたちの 災害への備え

津波が発生した場合に、わたしの場所は

避難対象地域の中に (あります ・ ありません)

- 津波の恐れがある時は避難目標地点へ。
- その後、余力のある場合は津波一時避難場所へ逃げます。
- 避難をするための時間が無く、緊急的に避難する場合は緊急避難場所へ逃げます。

原則、 徒歩による 避難

	(避難にかかる時間*)
津波一時避難場所	(分)
避難目標地点	(分)
緊急避難場所	(分)

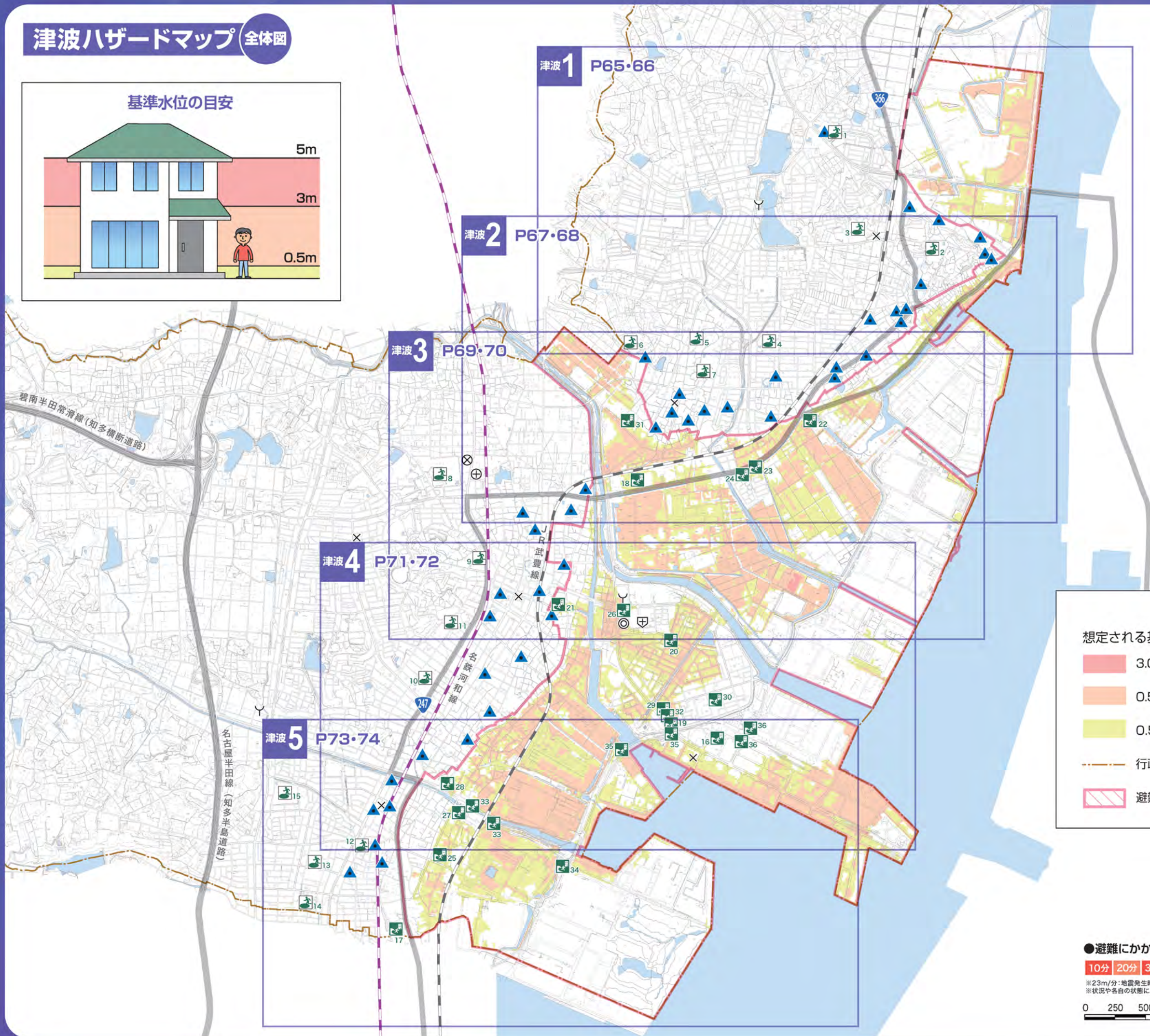
津波避難では、時間と余裕のある限り、
安全な場所を目指しましょう。

*時間の目安は、詳細地図の右下に示しています。

! このページを、写真に撮ったり
コピーするなどして、家族
全員がいつでも確認できる
ようにしておきましょう。

津波ハザードマップ 全体図

基準水位の目安



《津波一時避難場所一覧》

番号	施設名	所在地
1	日本大学半田キャンパスコミュニティセンター	東生見町26-2
2	亀崎小学校	亀崎月見町3-10
3	亀崎中学校	亀崎高根町5-40
4	乙川東小学校	花田町3-1
5	海蔵寺駐車場	乙川若宮町25
6	乙川白山公園	乙川源内林町1-43
7	乙川小学校	乙川北側町1-1
8	半田高等学校	出口町1-30
9	雁宿ホール	雁宿町1-22-1
10	成岩中学校	昭和町3-8
11	半田商業高等学校	白山町2-30
12	神戸公民館	花園町1-12-2
13	花園小学校	花園町3-5-1
14	花園公園	花園町5-12-1
15	青山中学校	青山5-6-1

《緊急避難場所一覧》

番号	施設名	所在地
16	愛知県連海苔流通センター	十一号地18-16
17	イオン半田店	有楽町8-7
18	カインズホーム半田店	浜田町3-10-1
19	サウナ&ホテルみどり館	瑞穂町6-7-12
20	サンポートホテル半田	瑞穂町9-3-1
21	JUS半田付属立体駐車場	新川町22-1
22	シャトー半田	中午町3-3
23	ナビウッディ半田マンションI番館	相賀町1-100
24	ナビウッディ半田マンションII番館	相賀町1-104
25	半田コロナワールド立体駐車場	旭町3-36-5
26	半田市役所	東洋町2-1
27	ビジネスホテルアーク半田店	旭町2-27-15
28	ブラエルメゾン青山付属立体駐車場	有楽町2-221
29	ラウンドワン半田店付属立体駐車場	瑞穂区6-7-8
30	レインボー第3半田	瑞穂町4-7-6
31	県営乙川住宅	乙川新町1-4
32	県営半田康衛住宅	瑞穂町6-7-10
33	道路高架区間の歩道部	旭町1ほか
34	道路高架区間の歩道部	川崎町3ほか
35	道路高架区間の歩道部	十一号地ほか
36	道路高架区間の歩道部	十一号地

凡例

想定される基準水位

3.0m以上~5.0m未満の区域

0.5m以上~3.0m未満の区域

0.5m未満の区域

行政区画界

避難対象地域

緊急避難場所

避難目標地点

津波一時避難場所

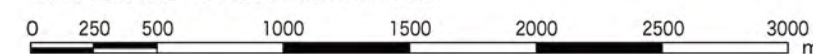
※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)

※最新の避難所開設状況を確認してください。

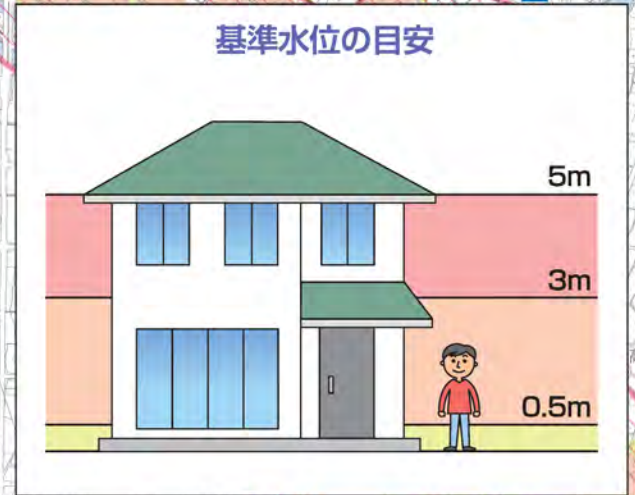
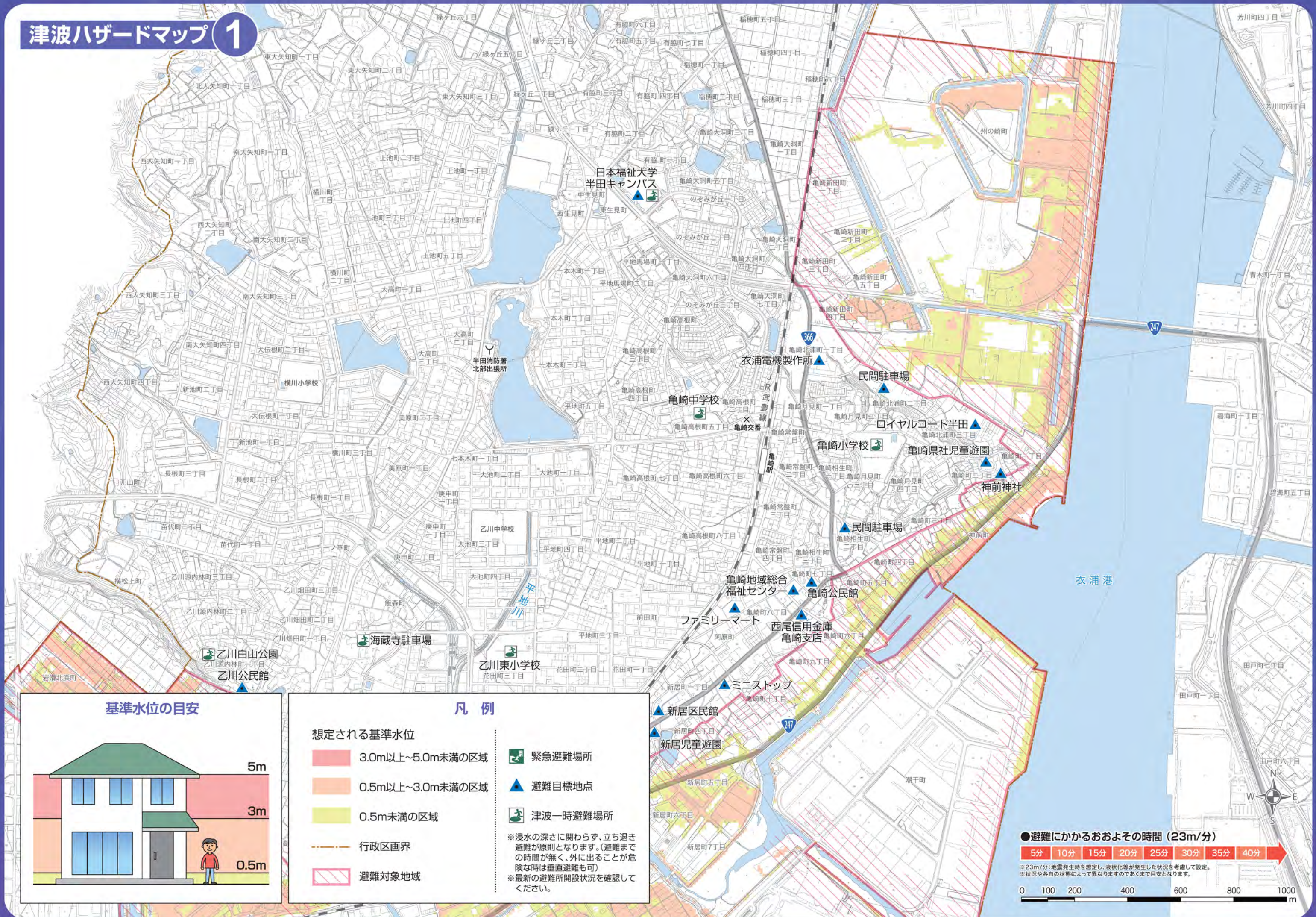
●避難にかかるおおよその時間 (23m/分)



※23m/分:地震発生時を想定し、液状化等が発生した状況を考慮して設定。
※状況や各自の状態によって異なりますのであくまで目安となります。



津波ハザードマップ 1



凡例

想定される基準水位 3.0m以上~5.0m未満の区域	緊急避難場所
0.5m以上~3.0m未満の区域	避難目標地点
0.5m未満の区域	津波一時避難場所
行政区画界	※ 浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
避難対象地域	※ 最新の避難所開設状況を確認してください。

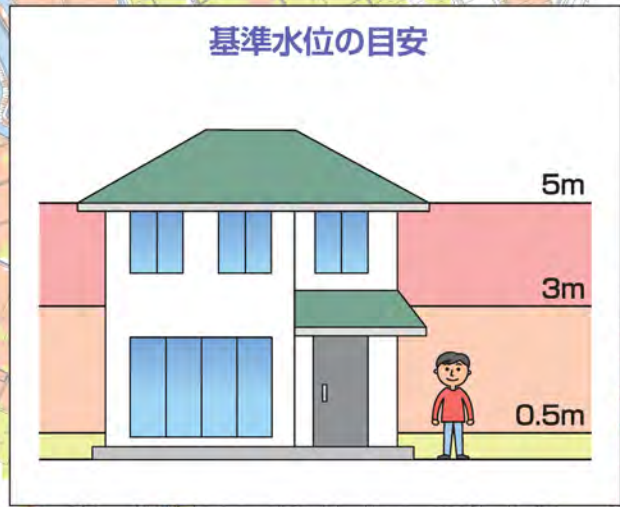
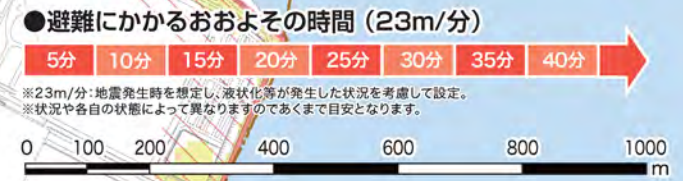
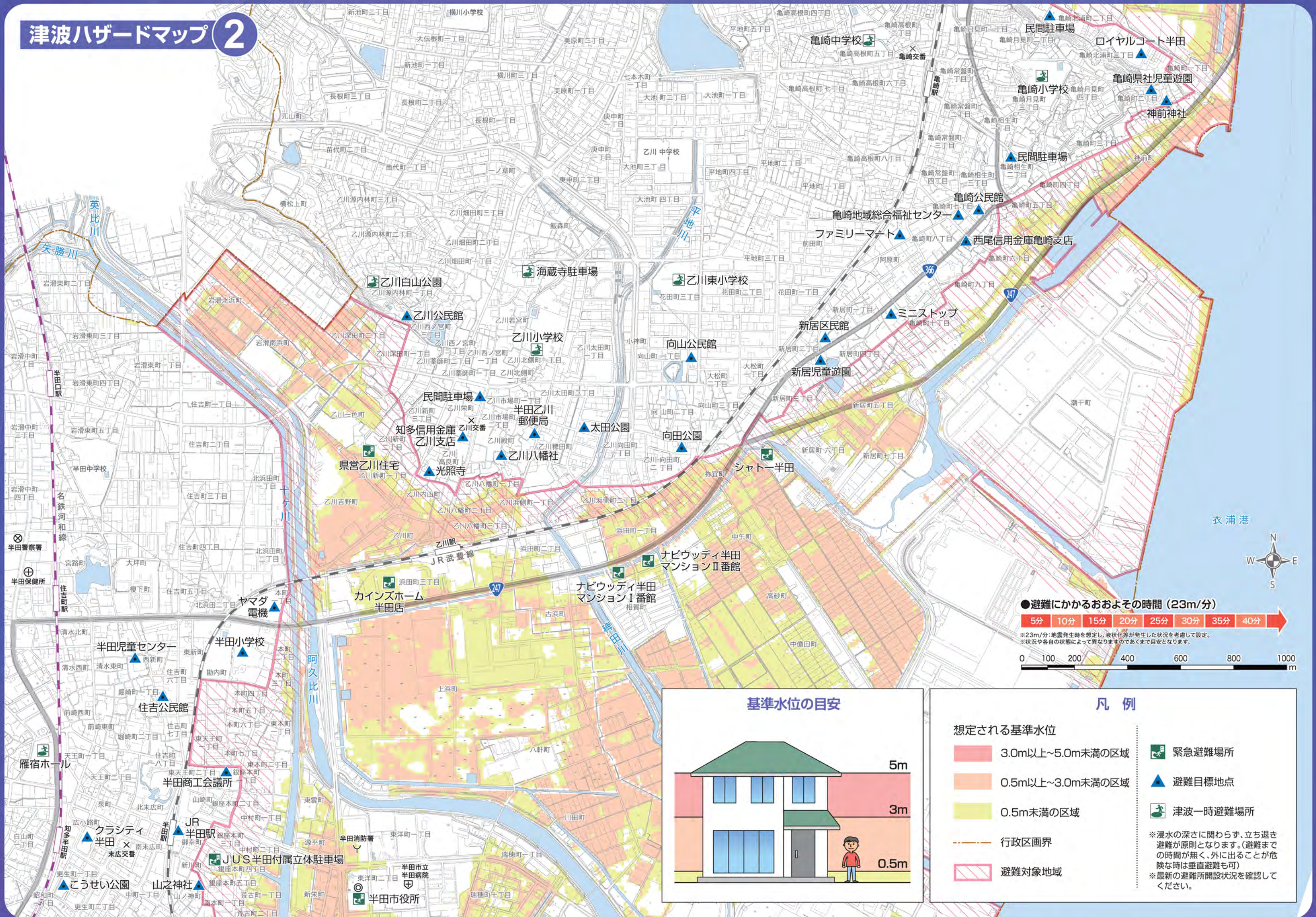
●避難にかかるおおよその時間 (23m/分)

5分	10分	15分	20分	25分	30分	35分	40分
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

※ 23m/分: 地震発生時を想定し、液状化等が発生した状況を考慮して設定。
 ※ 状況や各自の状態によって異なりますのであくまで目安となります。

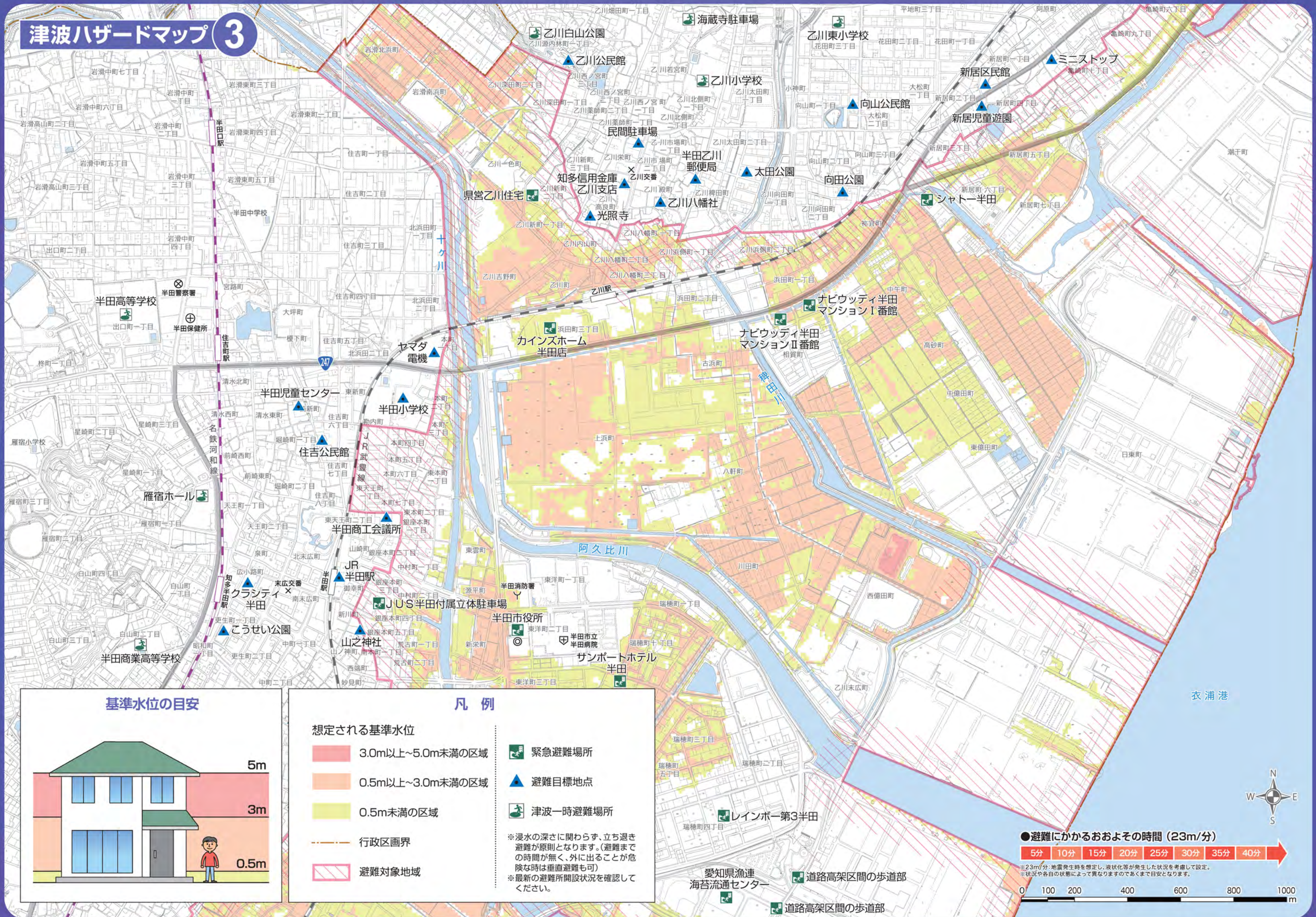
0 100 200 400 600 800 1000 m

津波ハザードマップ 2



- ### 凡例
- 想定される基準水位
 - 3.0m以上~5.0m未満の区域
 - 0.5m以上~3.0m未満の区域
 - 0.5m未満の区域
 - 行政区画界
 - 避難対象地域
 - 緊急避難場所
 - 避難目標地点
 - 津波一時避難場所
- ※浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
 ※最新の避難所開設状況を確認してください。

津波ハザードマップ 3



基準水位の目安



想定される基準水位

- 3.0m以上~5.0m未満の区域
- 0.5m以上~3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域
- 行政区画界
- 避難対象地域

凡例

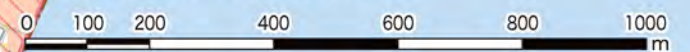
- 緊急避難場所
- ▲ 避難目標地点
- 津波一時避難場所

※ 浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
 ※ 最新の避難所開設状況を確認してください。

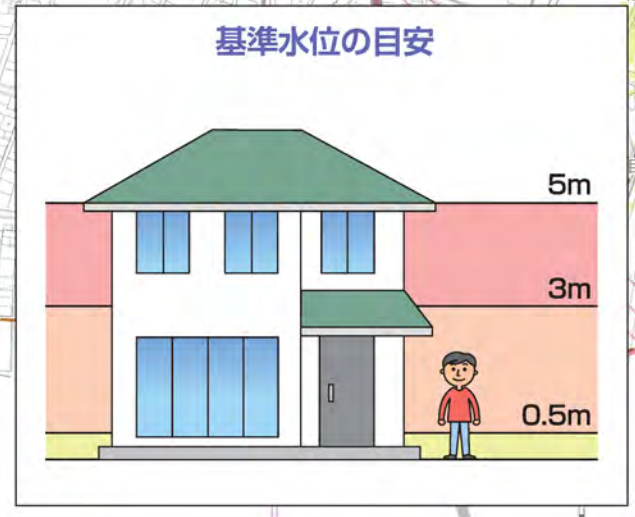
避難にかかるおおよその時間 (23m/分)



※ 23m/分: 地震発生時を想定し、液状化等が発生した状況を考慮して設定。
 ※ 状況や各自の状態によって異なりますのであくまで目安となります。



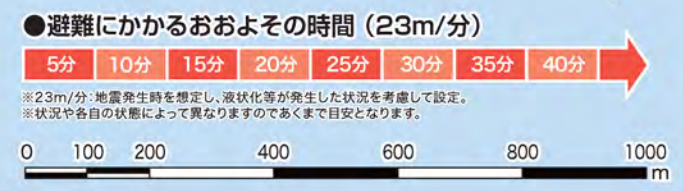
津波ハザードマップ 4



凡例

3.0m以上~5.0m未満の区域	緊急避難場所
0.5m以上~3.0m未満の区域	避難目標地点
0.5m未満の区域	津波一時避難場所
行政区画界	
避難対象地域	

※ 浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
※ 最新の避難所開設状況を確認してください。



津波ハザードマップ 5



基準水位の目安



凡例

- 想定される基準水位
 - 3.0m以上~5.0m未満の区域
 - 0.5m以上~3.0m未満の区域
 - 0.5m未満の区域
 - 行政区画界
 - 避難対象地域
 - 緊急避難場所
 - 避難目標地点
 - 津波一時避難場所
- ※ 浸水の深さに関わらず、立ち退き避難が原則となります。(避難までの時間が無く、外に出ることが危険な時は垂直避難も可)
 ※ 最新の避難所開設状況を確認してください。

●避難にかかるおおよその時間 (23m/分)



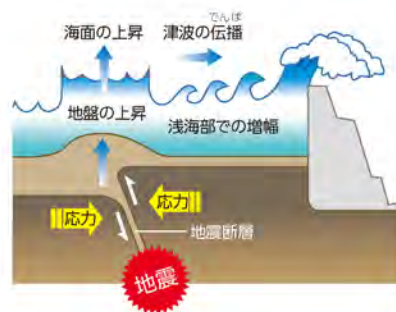
※ 23m/分: 地震発生時を想定し、液状化等が発生した状況を考慮して設定。
 ※ 状況や各自の状態によって異なりますのであくまで目安となります。



津波ハザードマップの補足説明

津波とは

本ハザードマップでは、津波により発生が想定される浸水を示しています。津波は、海底で発生した地震に伴う海底地盤の隆起・沈降や地滑りにより、その周辺の海水が巨大なエネルギーにより上下に変動することによって発生します。さらに津波は沿岸に達するにつれ、水深の浅い海底地形や湾地形等の影響で巨大津波となることがあります。また、沿岸に打ち寄せた津波は、陸上を駆け上がったリ、河川を遡上したりするなど、広い範囲で甚大な被害をもたらす可能性があります。



想定条件

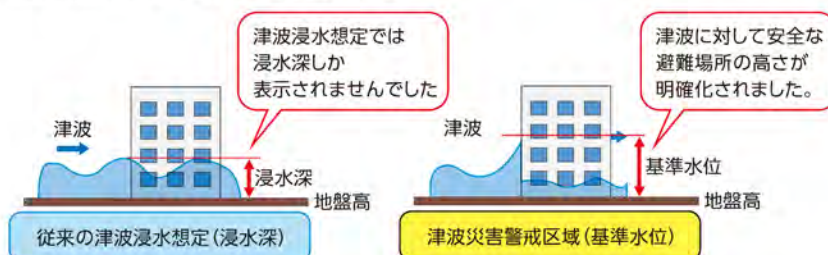
本ハザードマップは、愛知県が検討した津波浸水想定を基に作成しています。この津波浸水想定は、内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」が公表した津波断層モデルのケースから、愛知県沿岸に最大クラスの津波をもたらすと想定される5つのケースを選定し、これら5ケースごとの最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。この最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予想される津波から想定したものであり、千年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度が低いものですが、これよりも大きな津波が発生する可能性が無いというものではありません。地図に示した浸水の予想される深さや範囲は、あくまで想定であり、実際の災害時には浸水の想定されていない地域においても浸水したり、想定される深さが実際の深さとは異なる場合があります。

過去の災害

過去にこの地域で起きた大規模な地震は、約100～150年間隔で繰り返し発生しており、次の巨大地震がいつ起きてもおかしくない状況といわれています。他人事と考えず事前の備えに取り組むことが必要です。

基準水位

従来の津波浸水想定(浸水深)に、津波が建築物に衝突した際の水位上昇分(せき上げ高)を加えた水位です。



避難対象地域

津波が発生した場合に避難が必要な地域であり、愛知県が公表した津波浸水想定に基づき住民等がワークショップにて設定し、市が指定しました。安全性の確保、円滑な避難等を考慮して、愛知県が公表した津波浸水想定よりも広い範囲で設定したものです。

緊急避難場所

高台までの避難に時間的猶予がなく避難が困難な場合に、緊急的・一時的に避難する施設として市が指定したものです。

避難目標地点

津波の危険がある避難対象地域から避難対象地域の外へ避難する際に目標とする地点であり、住民等がワークショップにて設定したものです。

津波一時避難場所

半田市地域防災計画で定める広域・応急避難場所のうち、津波災害に対応した一時避難場所として市が指定したものです。

